

令和2年11月9日

「第1回（仮称）長崎市版下水道場」活動報告書

以下のとおり、第1回（仮称）長崎市版下水道場を開催いたしましたので報告します。

I 日時

令和2年11月6日（金）13時30分～16時00分

II 場所

長崎市役所本館5階 大会議室

III 参加者

No.	氏名	市町名	所属部局課係名	職種	役職	性別	出欠欄
							第1回
							R2.11.6
1	山口 将文	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木		男	○
2	出口 裕理江	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木	技師	女	○
3	石井 佳祐	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木	技師	男	○
4	田中 翔	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木	技師	男	○
5	梶山 裕人	長崎市	事業部事業管理課管理係	事務	主事	男	○
6	松尾 大雅	長崎市	事業部事業管理課普及調整係	土木		男	○
7	橋口 千熙	長崎市	事業部下水道施設課施設管理係	機械		男	○
8	吉野 光貴	長崎市	事業部下水道施設課電機係	機械		男	○
9	辻 健太郎	長崎市	事業部下水道施設課電機係	電気		男	○
10	白倉 翔太郎	長崎市	事業部下水道施設課電機係	電気		男	○
11	福島 諒	長崎市	事業部下水道建設課建設2係	土木	技師	男	○
12	間ノ瀬 夏樹	長崎市	事業部下水道建設課建設1係	土木	技師	男	×
13	遠岳 裕樹	長崎市	事業部下水道建設課建設2係	土木		男	×
14	岡田 将直	長崎市	事業部下水道建設課建設2係	土木		男	○
15	荒川 雄介	長崎市	事業部下水道建設課建設1係	土木		男	○
16	柴原 宏紀	長崎市	事業部下水道建設課建設1係	土木		男	×
17	山脇 真一	長崎市	業務部総務課職員係	事務	主事	男	○
18	出口 なのは	長崎市	業務部総務課総務係	事務		女	○
19	松尾 文人	長崎市	業務部総務課総務係	事務		男	○
20	大久保 忠重	長崎市	業務部経理課経理係	事務	主事	男	○
21	鈴木 夏美	長崎市	業務部経理課経理係	事務	主事	女	×
22	平山 沙織	長崎市	業務部経理課経理係	事務		女	○
23	大坪 孝明	長崎市	業務部料金サービス課収納管理係	事務	主事	男	×
24	竹本 幹大	長崎市	業務部料金サービス課給排水相談係	土木		男	○
25	高尾 大樹	長崎市	業務部料金サービス課受付サービス係	事務		男	○
26	永江 啓二	長与町	水道局下水道課業務係	事務	主査	男	○
27	松本 直希	長与町	水道局下水道課建設係	事務	主事	男	○
計							22

※今回、長崎県水環境対策課から池田 信人技師が特別参加

#### IV タイムスケジュール

時間		内容	詳細
13:30	5分	下水道場開講	設立の趣旨説明
13:35	10分	アドバイザー挨拶	・野瀬上下水道局長 ・宮崎下水道企画係長
13:45	25分	アイスブレイク	入門者の自己紹介（一人1分以内）
14:10	40分	入門テーマ	「(仮称)長崎市版下水道場」の正式名称の決定について
14:50	5分	休憩	
14:55	45分	初段テーマ	「(仮称)長崎市版下水道場 長崎下水道宣言」の決定について
15:40	5分	下水道場閉講	閉講時に集合写真を撮影します
15:45	15分	課外稽古 ※	「合格祈願マンホールカード」の制作 長崎市職員のみ（長与町及び時津町の職員は除く）
16:00		課外稽古終了	

※課外稽古は、長崎市職員のみが対象  
長与町及び時津町の職員は、15時40分で下水道場閉講



野瀬アドバイザー挨拶



宮崎アドバイザー挨拶



会議状況

#### V 活動内容

[入門テーマ] 「(仮称)長崎市版下水道場」の正式名称の決定について

##### ○目的

(仮称)長崎市版下水道場の名称を参加者で協議し合い、これから若手職員が下水道場で活動していくのにふさわしい名称を決定した。

##### ○内容

6つのグループ（3～4名/グループ）に分かれて、事前に参加者から考えてもらった名称（案）をランダムに振り分け、各グループで話し合い1つの名称（案）とその選定理由について発表した。

その後、各グループから提案した6つの名称（案）を参加者の多数決にて決定した。

各グループが提案した名称（案）は以下のとおりである。

GROUP	名称（案）	選定理由
G①	肥前肥溜	① JR九州の駅名っぽく親近感！ ② 「肥」をダブル使いでアクセント♪ ③ 「下水道」って汚いイメージだけど日本人は「肥溜」などのように下水に付加価値をつけて有効活用していたから
G②	長崎「下水道場」LOVERS	長崎創生推進室の「長崎〇〇LOVERS」にあやかって下水道場での取組み・活動を発信する
G③	カステラ市下水道場	① 長崎らしさ、他県からも分かる ② 私の祖母もカステラ屋さんで働いているから
G④	よかまち長崎下水道場 ～わっかもんでばりよかまちばつくろうで！～	長崎市版下水道場の目的にあった名称だと思ったから
G⑤	がんばらんば長崎若手下水道場	長崎らしいから
G⑥	ちゃんぽん下水道場	広域連携において長崎市、長与町及び時津町が混ざり合っていていい味をだしていけそうだから



参加者の多数決の結果、過半数の票を獲得した以下の名称に決定した。

**よかまち長崎下水道場**  
～わっかもんでばりよかまちばつくろうで！～



## ○目的

「下水道場 神田宣言」を参考に長崎独自の長崎下水道宣言を掲げて、これからの下水道場の活動を実施していくための方針や目標を参加者で話し合い、決定した。

## ○内容

6つのグループ（3～4名/グループ）に分かれて、事前に参加者から考えてもらった名称（案）をランダムに振り分け、各グループで話し合い1つの方針・目標について発表した。

各グループが提案した方針・目標は以下のとおりである。

GROUP	方針・目標
G①	門下生全員が主役の道場にします！
G②	新しい知識や技術を積極的に取り入れ、下水道の革新を促す
G③	右に倣わず、独自性に自信を持とう
G④	若手の創造力、実行力、発信力を活かせる下水道場にする
G⑤	わかもん同士、協力して人と下水道ば繋げる交流の場にするばい
G⑥	将来にわたって知識・技術を蓄積し継承するための場所とする

また、上記の方針・目標を下水道場の名称にあわせて、長崎弁を用いた長崎らしい「長崎下水道宣言」にブラッシュアップさせることを参加者で決定した。



その結果、「長崎下水道宣言」を以下のとおりとする。

## よかまち長崎下水道場

～ わっかもんでばりよかまちばつくろうで！～

### 「長崎下水道宣言」

- 一、 門下生全員が主役の下水道場にすっけん  
(翻訳：門下生全員が主役の下水道場にします)
- 一、 わっかもん同士、協力して人と下水道ば繋げる交流の場にするばい  
(翻訳：若手同士、協力して人と下水道を繋げる交流の場にします)
- 一、 将来に渡って知識・技術ば蓄積して継承すつための場所にすつたい  
(翻訳：将来に渡って知識・技術を蓄積し継承するための場所にします)
- 一、 わっかもんの創造力、実行力、発信力ば活かせる下水道場にすっけん  
(翻訳：若手の創造力、実行力、発信力を活かせる下水道場にします)
- 一、 右に倣わんで、独自性に自信ば持たんば  
(翻訳：右に倣わず、独自性に自信を持とう)
- 一、 新しか知識や技術ば積極的に取り入れて、下水道の革新ば促そうで  
(翻訳：新しい知識や技術を積極的に取り入れて、下水道の革新を促します)

#### 〔課外稽古〕「合格祈願マンホールカード」の制作

##### ○目的

長崎市上下水道局の下水道マンホールカードのさらなる PR 企画として、受験シーズンを迎える受験生を応援するため、マンホールの特徴である「丸い」「落ちない」「滑らない」にあやかり、「合格祈願」マンホールカードを無料配布するため、若手職員で制作を行った。

##### ○内容

手本及びマニュアルを基に、各自制作を行った。



## VI 集合写真





## 令和2年度 (仮称) 長崎市版下水道場 入門者一覧表

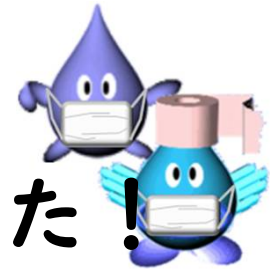
R2. 11. 6現在

No.	氏名	市町名	所属部局課係名	職種	役職	性別
1	山口 将文	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木		男
2	出口 裕理江	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木	技師	女
3	石井 佳祐	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木	技師	男
4	田中 翔	長崎市	事業部事業管理課下水道企画係	土木	技師	男
5	梶山 裕人	長崎市	事業部事業管理課管理係	事務	主事	男
6	松尾 大雅	長崎市	事業部事業管理課普及調整係	土木		男
7	橋口 千熙	長崎市	事業部下水道施設課施設管理係	機械		男
8	吉野 光貴	長崎市	事業部下水道施設課電機係	機械		男
9	辻 健太郎	長崎市	事業部下水道施設課電機係	電気		男
10	白倉 翔太郎	長崎市	事業部下水道施設課電機係	電気		男
11	福島 諒	長崎市	事業部下水道建設課建設2係	土木	技師	男
12	間ノ瀬 夏樹	長崎市	事業部下水道建設課建設1係	土木	技師	男
13	遠岳 裕樹	長崎市	事業部下水道建設課建設2係	土木		男
14	岡田 将直	長崎市	事業部下水道建設課建設2係	土木		男
15	荒川 雄介	長崎市	事業部下水道建設課建設1係	土木		男
16	柴原 宏紀	長崎市	事業部下水道建設課建設1係	土木		男
17	山脇 真一	長崎市	業務部総務課職員係	事務	主事	男
18	出口なのは	長崎市	業務部総務課総務係	事務		女
19	松尾 文人	長崎市	業務部総務課総務係	事務		男
20	大久保 忠重	長崎市	業務部経理課経理係	事務	主事	男
21	鈴木 夏美	長崎市	業務部経理課経理係	事務	主事	女
22	平山 沙織	長崎市	業務部経理課経理係	事務		女
23	大坪 孝明	長崎市	業務部料金サービス課収納管理係	事務	主事	男
24	竹本 幹大	長崎市	業務部料金サービス課給排水相談係	土木		男
25	高尾 大樹	長崎市	業務部料金サービス課受付サービス係	事務		男
26	永江 啓二	長与町	水道局下水道課業務係	事務	主査	男
27	松本 直希	長与町	水道局下水道課建設係	事務	主事	男

# よかまち長崎下水道場

～わっかもんでばりよかまちばつくろうで！～

を設立  
しました！



## ◆現状

1. 下水道関係組織において、経験豊かな職員の大量退職が迫るなか、若手職員の技術の継承が大きな課題
2. 事業量の減少や民間委託の拡大等により、若手職員が十分に経験を積むことが難しい傾向にある
3. 上下水道局の技術職員のうち、40代～50代が全体の66%を占めており、年齢構成の歪みが生じている

## ◆目的

1. 人口減少に伴う使用料の減少が見込まれるなか、下水道事業を持続させるためには、若手職員一人ひとりが現状を自覚し、これまで培われてきた**技術**を**継承**し、**発展**を目指す
2. 若手職員が事業運営に寄与する場を設け、若手職員の経営に貢献するアイデアを実現化する**検討・研究**など幅広い活動を通じて、組織の枠を超えた若手職員の**自己研磨**の場及び**人材育成**の推進による組織の活性化を目指す
3. 下水道事業の**広域化・共同化**の広域連携を推進するなかで、「**連携中枢都市圏**」の長崎市、長与町及び時津町と連携して活動を図る



長崎市上下水道局



# よかまち長崎下水道場

～わっかもんでばりよかまちばつくろうで！～



## 「長崎下水道宣言」

- 一、門下生全員が主役の下水道場にすっけん  
(翻訳：門下生全員が主役の下水道場にします)
- 一、わっかもん同士、協力して人と下水道ば繋げる交流の場にするばい  
(翻訳：若手同士、協力して人と下水道を繋げる交流の場にします)
- 一、将来に渡って知識・技術ば蓄積して継承すっための場所にするばい  
(翻訳：将来に渡って知識・技術を蓄積し継承するための場所にします)
- 一、わっかもんの創造力、実行力、発信力ば活かせる下水道場にすっけん  
(翻訳：若手の創造力、実行力、発信力を活かせる下水道場にします)
- 一、右に倣わんで、独自性に自信ば持たんば  
(翻訳：右に倣わず、独自性に自信を持とう)
- 一、新しか知識や技術ば積極的に取り入れて、下水道の革新ば促そうで  
(翻訳：新しい知識や技術を積極的に取り入れて、下水道の革新を促します)

